

総合問題 1

File OPEN

データベースファイル「総合問題1.accdb」を開きましょう。

※《ドキュメント》または《マイドキュメント》→「Access2007ビジネス活用編」→「総合問題1」から開きます。

※《セキュリティの警告》メッセージバーの《オプション》をクリックし、《このコンテンツを有効にする》を●にしておきましょう。

●既存のオブジェクト

あらかじめ作成されているオブジェクトを開き、内容を確認しておきましょう。

オブジェクトの種類	オブジェクト名
テーブル	T学生マスター、T学部マスター
クエリ	Q学生マスター
フォーム	Fメインメニュー、F学生マスター、F学生マスター印刷、F学生マスター抽出、F学部マスター
マクロ	Mメインメニュー、M学生マスター印刷、M学生マスター抽出

●メニュー遷移

Exercise1～8を通して作成するデータベースのメニュー遷移を確認しましょう。

→ 学生マスターの登録画面を表示する

→ 学生マスターの抽出画面を表示する

→ 学生マスターの印刷メニューを表示する

→ 学生マスター(学生番号順)を印刷する

→ 学生マスター(五十音順)を印刷する

→ 学部別学生マスターを印刷する

→ ラベルを印刷する

→ メインメニューへ戻る

→ メインメニューへ

→ メインメニューを閉じる

→ 学部マスターの登録画面を表示する

Exercise 1

解答は巻末に記載しています。

フォーム「F学生マスター抽出」に条件入力用のコントロールを作成しましょう。

条件入力用のテキストボックスを配置する

条件選択用のコンボボックスを配置する

The screenshot shows a software window titled 'F学生マスター抽出' (F Student Master Extraction). It contains a table with columns for '学生番号' (Student ID), '学生名' (Student Name), '住所' (Address), '電話番号' (Phone Number), '生年月日' (Date of Birth), '学部コード' (Faculty Code), '学部名' (Faculty Name), and '学年' (Year). The table lists five students with their respective details. Above the table are buttons for '抽出実行' (Execute), '抽出リセット' (Reset), and '五十音順' (五十音順). To the right of the table are dropdown menus for '学年順' (Year Order), '学生番号順' (Student ID Order), and '閉じる' (Close). Below the table are controls for 'レコード' (Records), '1 / 35', and a search button.

① フォーム「F学生マスター抽出」をデザインビューで開きましょう。

② 《フォームヘッダー》セクションの「学生番号」ラベルの下に、条件入力用のテキストボックスを次のように作成しましょう。ラベルは削除します。

名前 : 条件1

③ 《フォームヘッダー》セクションの「学部コード」ラベルの下の「条件5」テキストボックスをコンボボックスに変更し、次のように設定しましょう。

値集合タイプ : テーブル/クエリ
値集合ソース : T学部マスター
列数 : 2
列幅 : 1cm;2cm
リスト幅 : 3cm

※フォームビューに切り替え、「条件1」テキストボックスに文字列が入力できること、「条件5」コンボボックスが一覧から選択できることを確認しておきましょう。

※フォーム「F学生マスター抽出」を上書き保存し、閉じておきましょう。

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

解答

索引

Exercise 2

解答は巻末に記載しています。

フォーム「F学生マスター抽出」の各コマンドボタンをクリックしたら、条件に合うレコードを抽出したり、フィールドを基準に並べ替えたりするマクロ「M学生マスター抽出」を作成しましょう。

条件に合うレコードだけを抽出する すべての条件をクリアしてすべてのレコードを表示する

① 次の条件でレコードが抽出されるように、クエリ「Q学生マスター」をもとにクエリ「Q学生マスター抽出」を作成しましょう。

※フォーム「F学生マスター抽出」の《フォームヘッダー》セクションの各ラベルの下にあるテキストボックスとコンボボックスには、左から「条件1」から「条件7」までの名前が設定されています。

- 「条件1」テキストボックスに入力されている文字列で始まる「学生番号」
- 「条件2」テキストボックスに入力されている文字列を含む「学生名」
- 「条件3」テキストボックスに入力されている文字列を含む「住所」
- 「条件4」テキストボックスに入力されている文字列で始まる「電話番号」
- 「条件5」コンボボックスに入力されている文字列で始まる「学部コード」
- 「条件6」テキストボックスに入力されている文字列を含む「学部名」
- 「条件7」テキストボックスに入力されている文字列で始まる「学年」

※クエリ「Q学生マスター抽出」を閉じておきましょう。

② フォーム「F学生マスター抽出」で入力する条件に合うレコードだけを抽出するマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター抽出」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
抽出実行	フィルタの実行	フィルタ名	Q学生マスター抽出
	再クエリ	—	—

- ③ フォーム「F学生マスター抽出」で入力されているすべての条件をクリアにし、すべてのレコードを表示するマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター抽出」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
抽出リセット	値の代入	アイテム	条件1
		式	Null
	値の代入	アイテム	条件2
		式	Null
	値の代入	アイテム	条件3
		式	Null
	値の代入	アイテム	条件4
		式	Null
	値の代入	アイテム	条件5
		式	Null
	値の代入	アイテム	条件6
		式	Null
	値の代入	アイテム	条件7
		式	Null
全レコードの表示	—	—	

- ④ フォーム「F学生マスター抽出」で「フリガナ」テキストボックスにフォーカスを移動し、昇順にレコードを並べ替えるマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター抽出」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
五十音順	コントロールの移動	コントロール名	フリガナ
	コマンドの実行	コマンド	昇順で並べ替え

- ⑤ フォーム「F学生マスター抽出」で「学年」テキストボックスにフォーカスを移動し、降順にレコードを並べ替えるマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター抽出」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
学年順	コントロールの移動	コントロール名	学年
	コマンドの実行	コマンド	降順で並べ替え

- ⑥ フォーム「F学生マスター抽出」で「学生番号」テキストボックスにフォーカスを移動し、昇順にレコードを並べ替えるマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター抽出」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
学生番号順	コントロールの移動	コントロール名	学生番号
	コマンドの実行	コマンド	昇順で並べ替え

※マクロ「M学生マスター抽出」を上書き保存し、閉じておきましょう。

- ⑦ フォーム「F学生マスター抽出」をデザインビューで開きましょう。

- ⑧ 作成したマクロを「抽出実行」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター抽出.抽出実行

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

解答

索引

⑨ 作成したマクロを「抽出リセット」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター抽出.抽出リセット

⑩ 作成したマクロを「五十音順」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター抽出.五十音順

⑪ 作成したマクロを「学年順」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター抽出.学年順

⑫ 作成したマクロを「学生番号順」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター抽出.学生番号順

※フォームビューに切り替え、マクロが正しく動作することを確認しておきましょう。

※フォーム「F学生マスター抽出」を上書き保存し、閉じておきましょう。

Exercise 3

解答は巻末に記載しています。

「学生番号順」にレコードを並べ替えて印刷するレポート「R学生マスター(学生番号順)」を作成しましょう。

学生マスター (学生番号順)

学生番号 学生名	学部コード 学部名	学年	郵便番号 住所	生年月日 電話番号
05001 大月 賢一 オオツキ ケンイチ	01 法学部	4	350-0001 埼玉県川越市古谷上X-X-X なぎさ社103	1986/04/05 049-235-XXXX
05002 飛鳥 宏英 アスカ ヒロヒデ	02 経済学部	4	124-0022 東京都葛飾区奥戸X-X-X	1985/06/09 03-3501-XXXX
05003 野村 桜 ノムラ サクラ	03 教育学部	4	230-0033 神奈川県横浜市鶴見区期日町X-X-X	1986/07/01 045-506-XXXX
05004 牧田 博 マキタ ヒロシ	04 理学部	4	214-0005 神奈川県川崎市多摩区寺尾台X-X-X	1985/09/30 044-505-XXXX
05005 近藤 真央 コンドウ マオ	05 工学部	4	231-0045 神奈川県横浜市中区伊勢佐木町X-X-X	1986/07/04 045-623-XXXX
05006 山本 香一 ヤマモト キイチ	06 芸術学部	4	236-0007 神奈川県横浜市金沢区白帆X-X-X	1986/07/05 045-725-XXXX
06001 井戸 剛 イド ツヨシ	01 法学部	3	221-0865 神奈川県横浜市神奈川区片倉X-X-X	1987/12/07 045-412-XXXX
06002 星 龍太郎 ホシ リュウタロウ	01 法学部	3	235-0022 神奈川県横浜市磯子区汐見台X-X-X	1987/08/12 045-975-XXXX
06003 大木 花実 オオキ ハナミ	02 経済学部	3	235-0035 神奈川県横浜市磯子区田中X-X-X	1987/12/08 045-421-XXXX
06004 和田 光輝 ワダ コウキ	02 経済学部	3	248-0013 神奈川県鎌倉市村木座X-X-X	1986/05/06 046-721-XXXX
06005 小川 正一 オガワ ショウイチ	03 教育学部	3	222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町X-X-X	1987/11/05 045-517-XXXX

- ① レポートウィザードを使って、レポートを作成しましょう。次のように設定し、それ以外は既定のままとします。

もともになるクエリ	: Q学生マスター
選択するフィールド	: すべてのフィールド
データの表示方法	: byT学生マスター
並べ替え	: 「学生番号」フィールドを昇順
レイアウト	: 表形式
印刷の向き	: 縦
スタイル	: トラベル
レポート名	: R学生マスター(学生番号順)

※レポート「R学生マスター(学生番号順)」を閉じておきましょう。

- ② レポート「R学生マスター(学生番号順)」をデザインビューで開きましょう。
- ③ 《レポートヘッダー》セクションの「R学生マスター(学生番号順)」ラベルを次のように設定しましょう。

タイトル	: 学生マスター(学生番号順)
------	-----------------

- ④ 《レポートヘッダー》セクションを次のように設定しましょう。

高さの自動調整	: いいえ
高さ	: 1.7cm

- ⑤ 《ページヘッダー》セクションの「フリガナ」ラベルと「建物名」ラベルを削除しましょう。
- ⑥ 《ページヘッダー》セクションのラベルの下に直線を配置し、次のように設定しましょう。

線の太さ	: 2ポイント
線の色	: ハイライト

- ⑦ 完成図を参考に、各コントロールのサイズと位置を調整しましょう。
- ⑧ 《ページヘッダー》セクションの「生年月日」ラベルと、《詳細》セクションの「生年月日」テキストボックスを次のように設定しましょう。

文字列を左に揃える

- ⑨ レポートの領域サイズを次のように設定しましょう。

幅	: 19.5cm
---	----------

※印刷プレビューに切り替え、結果を確認しておきましょう。

※レポート「R学生マスター(学生番号順)」を上書き保存し、閉じておきましょう。

Exercise 4

解答は巻末に記載しています。

「五十音順」にレコードを並べ替えて印刷するレポート「R学生マスター(五十音順)」を作成しましょう。

学生マスター(五十音順)				
学生番号 学生名	学部コード 学部名	学年	郵便番号 住所	生年月日 電話番号
07009 明石 由美子 アカシ ユミコ	06 芸術学部	2	210-0002 神奈川県川崎市川崎区横町X-X-X	1988/06/30 044-805-XXXX
05002 飛鳥 宏美 アスカ ヒロヒデ	02 経済学部	4	124-0022 東京都葛飾区奥戸X-X-X	1985/06/09 03-3501-XXXX
08001 天野 真未 アマノ マミ	01 法学部	1	236-0057 神奈川県横浜市金沢区能見台X-X-X	1989/11/01 045-654-XXXX
06001 井戸 剛 イド ツヨシ	01 法学部	3	221-0865 神奈川県横浜市神奈川区片倉X-X-X	1987/12/07 045-412-XXXX
08012 伊藤 琢磨 イトウ タクマ	06 芸術学部	1	240-0006 神奈川県横浜市保土ヶ谷区豊川X-X-X	1989/01/21 045-340-XXXX
07008 伊藤 めぐみ イトウ メグミ	05 工学部	2	240-0062 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町X-X-X コーポ305	1988/09/29 045-764-XXXX
06003 大木 花実 オオキ ハナミ	02 経済学部	3	235-0035 神奈川県横浜市磯子区田中X-X-X	1987/12/08 045-421-XXXX
05001 大月 賢一 オオツキ ケンイチ	01 法学部	4	350-0001 埼玉県川越市古谷上X-X-X なぎさ社103	1986/04/05 049-235-XXXX
06005 小川 正一 オガワ ショウイチ	03 教育学部	3	222-0035 神奈川県横浜市港北区島山町X-X-X	1987/11/05 045-517-XXXX
08002 香川 泰男 カガワ ヤスオ	01 法学部	1	247-0075 神奈川県鎌倉市関谷X-X-X	1989/06/15 046-758-XXXX
06008 加納 基成 カノウ モトナリ	06 芸術学部	3	231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通X-X-X	1987/06/20 045-502-XXXX

- ① レポート「R学生マスター(学生番号順)」をコピーして、レポート「R学生マスター(五十音順)」を作成しましょう。
- ② レポート「R学生マスター(五十音順)」をレイアウトビューで開きましょう。
- ③ 「学生番号順」の昇順から「フリガナ」の昇順に並べ替えを変更しましょう。
- ④ レポートを次のように設定しましょう。

タイトル : R学生マスター(五十音順)

- ⑤ 《レポートヘッダー》セクションの「学生マスター(学生番号順)」ラベルを次のように設定しましょう。

ラベル : 学生マスター(五十音順)

- *印刷プレビューに切り替え、結果を確認しておきましょう。
- *レポート「R学生マスター(五十音順)」を上書き保存し、閉じておきましょう。

Exercise 5

解答は巻末に記載しています。

「学部コード」ごとにレコードをグループ化して印刷するレポート「R学部別学生マスター」を作成しましょう。

学部別学生マスター							
学部コード	学部名	学生番号 学生名	学年	郵便番号 住所	生年月日 電話番号		
01	法学部	05001 大月 賢一 オオツキ ケンイチ	4	350-0001 埼玉県川越市古谷上X-X-X なざき社103	1986/04/05 049-235-XXXX		
		06001 井戸 剛 イド ツヨシ	3	221-0865 神奈川県横浜市神奈川区片倉X-X-X	1987/12/07 045-412-XXXX		
		06002 墨 龍太郎 ホシ リュウタロウ	3	235-0022 神奈川県横浜市磯子区汐見台X-X-X	1987/08/12 045-975-XXXX		
		07001 横山 花梨 ヨコヤマ カリン	2	111-0031 東京都台東区千束X-X-X	1988/08/21 03-3875-XXXX		
		08001 天野 真実 アマノ マミ	1	236-0057 神奈川県横浜市金沢区能見台X-X-X	1989/11/01 045-654-XXXX		
		08002 香川 泰男 カガワ ヤスオ	1	247-0075 神奈川県鎌倉市関谷X-X-X	1989/06/15 046-758-XXXX		
		学生数					6
		02	経済学部	05002 飛鳥 宏美 アスカ ヒロヒデ	4	124-0022 東京都葛飾区奥戸X-X-X	1985/06/09 03-3501-XXXX
				06003 大木 花実 オオキ ハナミ	3	235-0035 神奈川県横浜市磯子区田中X-X-X	1987/12/08 045-421-XXXX
				06004 和田 光輝 ワダ コウキ	3	248-0013 神奈川県鎌倉市材木座X-X-X	1986/05/06 046-721-XXXX
				07002 村瀬 稔彦 ムラセ トシヒコ	2	108-0075 東京都港区港南X-X-X	1987/05/18 03-3320-XXXX
				学生数			
2008年9月1日					1/4 ページ		

① レポートウィザードを使って、レポートを作成しましょう。次のように設定し、それ以外は既定のままとします。

もともになるクエリ	: Q学生マスター
選択するフィールド	: すべてのフィールド
データの表示方法	: byT学生マスター
グループレベル	: 学部コード
並べ替え	: 「学生番号」フィールドを昇順
レイアウト	: ステップ
印刷の向き	: 縦
スタイル	: トラベル
レポート名	: R学部別学生マスター

※レポート「R学部別学生マスター」を閉じておきましょう。

② レポート「R学部別学生マスター」をデザインビューで開きましょう。

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

解答

索引

- ③《学部コードフッター》セクションを表示し、次のようにグループ内の学生数を表示するテキストボックスとラベルを追加しましょう。

テキストボックス

名前	: 学生数
コントロールソース	: =Count(学生番号)

ラベル

名前	: 学生数ラベル
標題	: 学生数

- ④《レポートヘッダー》セクションの「R学部別学生マスター」ラベルを次のように設定しましょう。

標題	: 学部別学生マスター
----	-------------

- ⑤《ページヘッダー》セクションの「フリガナ」ラベルと「建物名」ラベルを削除しましょう。

- ⑥《ページヘッダー》セクションのラベルの下に直線を配置し、次のように設定しましょう。

線の太さ	: 2ポイント
線の色	: ハイライト

- ⑦《詳細》セクションの「学部名」テキストボックスを《学部コードヘッダー》セクションに移動しましょう。

- ⑧《学部コードフッター》セクションのラベルとテキストボックスの下に直線を配置し、次のように設定しましょう。

線の太さ	: 2ポイント
線の色	: 境界線/枠線

- ⑨《ページヘッダー》セクションの「学部コード」ラベルと「学部名」ラベルを次のように設定しましょう。

塗りつぶし/背景の色	: ハイライト
------------	---------

- ⑩《学部コードヘッダー》セクションの「学部コード」テキストボックスと「学部名」テキストボックス、《学部コードフッター》セクションの「学生数」ラベルと「学生数」テキストボックスを次のように設定しましょう。

フォントサイズ	: 12
---------	------

⑪ 完成図を参考に、各コントロールのサイズと位置を調整しましょう。

⑫ 《ページヘッダー》セクションの「生年月日」ラベルと、《詳細》セクションの「生年月日」テキストボックスを次のように設定しましょう。

文字列を左に揃える

⑬ レポートの領域サイズを次のように設定しましょう。

幅 : 19.5cm

※印刷プレビューに切り替え、結果を確認しておきましょう。

※レポート「R学部別学生マスター」を上書き保存し、閉じておきましょう。

Exercise 6

解答は巻末に記載しています。

宛名ラベルとしてレコードを印刷するレポート「Rラベル」を作成しましょう。

350-0001 埼玉県川越市古谷上X-X-X なぎさ社103 大月 賢一 様	124-0022 東京都葛飾区奥戸X-X-X 飛鳥 宏英 様
230-0033 神奈川県横浜市鶴見区朝日町X-X-X 野村 桜 様	214-0005 神奈川県川崎市多摩区寺尾台X-X-X 牧田 博 様

① 宛名ラベルウィザードを使って、レポートを作成しましょう。次のように設定し、それ以外は既定のままとします。

もとになるテーブル	: T学生マスター
ラベルのメーカー	: Kokuyo
ラベルの製品番号	: タイ-2161N-w
フォント名	: MS Pゴシック
フォントサイズ	: 10
ラベルのレイアウト	: (1行目) {郵便番号} (2行目) {住所} (3行目) {建物名} (5行目) □□□□□□□□ {学生名} □様
レポート名	: Rラベル

※□は全角スペースを入力します。

※結果を確認しておきましょう。

※レポート「Rラベル」を閉じておきましょう。

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

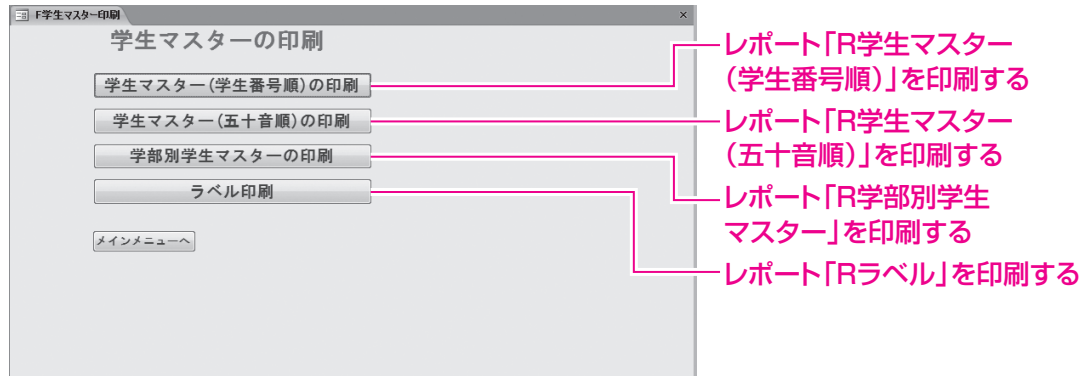
解答

索引

Exercise 7

解答は巻末に記載しています。

フォーム「F学生マスター印刷」の各コマンドボタンをクリックしたら、各レポートを印刷プレビューで開くマクロ「M学生マスター印刷」を作成しましょう。



- ① レポート「R学生マスター(学生番号順)」を印刷プレビューで開くマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター印刷」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
学生マスター(学生番号順)の印刷	レポートを開く	レポート名	R学生マスター(学生番号順)
		ビュー	印刷プレビュー

- ② レポート「R学生マスター(五十音順)」を印刷プレビューで開くマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター印刷」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
学生マスター(五十音順)の印刷	レポートを開く	レポート名	R学生マスター(五十音順)
		ビュー	印刷プレビュー

- ③ レポート「R学部別学生マスター」を印刷プレビューで開くマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター印刷」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
学部別学生マスターの印刷	レポートを開く	レポート名	R学部別学生マスター
		ビュー	印刷プレビュー

- ④ レポート「Rラベル」を印刷プレビューで開くマクロを作成しましょう。マクロ「M学生マスター印刷」に追加します。

マクロ名	アクション	アクションの引数	
ラベル印刷	レポートを開く	レポート名	Rラベル
		ビュー	印刷プレビュー

※マクロ「M学生マスター印刷」を上書き保存し、閉じておきましょう。

- ⑤ フォーム「F学生マスター印刷」をデザインビューで開きましょう。

- ⑥作成したマクロを「学生マスター(学生番号順)の印刷」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター印刷.学生マスター(学生番号順)の印刷

- ⑦作成したマクロを「学生マスター(五十音順)の印刷」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター印刷.学生マスター(五十音順)の印刷

- ⑧作成したマクロを「学部別学生マスターの印刷」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター印刷.学部別学生マスターの印刷

- ⑨作成したマクロを「ラベル印刷」コマンドボタンに次のように割り当てましょう。

クリック時 : M学生マスター印刷.ラベル印刷

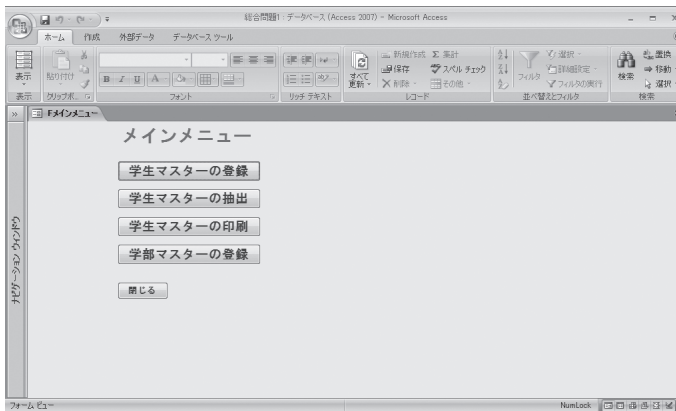
※フォームビューに切り替え、マクロが正しく動作することを確認しておきましょう。

※フォーム「F学生マスター印刷」を上書き保存し、閉じておきましょう。

Exercise 8

解答は巻末に記載しています。

データベースファイルを開いた直後にナビゲーションウィンドウを最小化し、フォーム「Fメインメニュー」が開くマクロ「AutoExec」を作成しましょう。



- ①ナビゲーションウィンドウを最小化し、フォーム「Fメインメニュー」を開くマクロ「AutoExec」を作成しましょう。

アクション	アクションの引数	
最小化	—	—
フォームを開く	フォーム名	Fメインメニュー
	ビュー	フォームビュー

- ②データベースを一旦閉じ、その後開いてマクロが正しく動作することを確認しましょう。

※完成したデータベースのメニュー遷移を確認しておきましょう。

※データベースファイル「総合問題1.accdb」を閉じておきましょう。